

取扱説明書


トランスミッションジャッキ

M-800 M-1200

M-1500 M-1800



本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。

 **長崎ジャッキ株式会社**

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。

まえがき

このたびは、長崎のトランスミッションジャッキをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ます。


ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。
取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮
できないばかりかトランスミッション及び車の落下や人身事故につながりますので、十分理解
した上で、正しく使用してください。


お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂き
ました販売会社まで問い合わせしてください。

尚、取扱説明書及び警告ラベル等貼付ラベルは大切に使用してください。万一紛失・汚損
された場合は速やかに購入の上、正しく保管又は貼付して下さい。

警告

この取扱説明書では「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用して
います。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防
止の為の重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してくだ
さい。

 **警告**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う可能性が想
定される場合。

 **注意**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場
合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1.使用目的 | 2 |
| 2.警告・注意事項 | 2 |
| 2-1 警告事項 | 2 |
| 2-2 注意事項 | 3 |
| 2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称 | 4 |
| 3.構造及び各部の名称 | 5 |
| 3-1 受け板付属部の取り付け方、手押しハンドルの取り付け方 | 5 |
| 3-2 構造及び各部の名称 | 7 |
| 4.使用方法及び使用上の注意 | 9 |
| 4-1 始業点検 | 9 |
| 4-2 ミッションジャッキを使用する条件 | 10 |
| 4-3 上昇操作 | 10 |
| 4-4 下降操作 | 12 |
| 4-5 終業点検と保管 | 12 |
| 5.定期点検 | 13 |
| 5-1 点検 | 13 |
| 5-2 可動部への給油 | 14 |
| 5-3 作動油の種類と交換・補給 | 15 |
| 6.故障と処置 | 16 |
| 7.仕様 | 17 |
| 8.製品保証規定 | 17 |

1.使用目的

このトランスミッションジャッキ(以下ミッションジャッキと言う)は、トランスミッション(以下ミッションと言う)の脱着作業に使用するジャッキです。また、ミッションを載せての洗浄作業には使えません。




2.警告・注意事項

このミッションジャッキをご使用いただく上で的人身事故やミッション及び車の損傷を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用してください。

2-1 警告事項

⚠ 警告

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
|  | 取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること。 ※重要な警告事項が説明されています。警告事項に従ってください。 重大な事故につながります。 |
|  | 操作は、操作方法を熟知した人以外は使用禁止。 ※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。 |
|  | エンジンや偏荷重での使用禁止。 ※ミッションの落下やミッションジャッキの転倒の危険あり。 |
|  | ミッションが落下しそうな時は、支えないこと。 ※重傷事故の危険あり。 |
|  | 純正アタッチメント以外の使用禁止。 ※振動でカイモノが外れ、ミッションの落下の危険あり。 |
|  | ミッションの脱着時、大きく揺らさない又、大きな衝撃を与えないこと。 ※ミッションや車が落下し重傷事故の危険あり。 |
|  | ミッションの脱着作業時は、自動車の昇降禁止。 ※自動車の落下による重大事故の危険あり。 |

| | |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>作業中は、昇降部に手を触れないこと又、足を載せての作業禁止。</p> <p>※手や足をはさまれ、重傷の危険あり。</p> |
|  | <p>最低位まで下げて移動すること又、平坦で強固な場所で使用のこと。</p> <p>※ミッションジャッキが傾き、ミッションの落下の危険あり。</p> |
|  | <p>必ずチェーンを掛け確実に固定すること。</p> <p>※ミッションジャッキの昇降又は移動中の振動で、ミッションの落下の危険あり。</p> |

2-2 注意事項

注意

一般的な注意事項

- 1.使用目的以外の使用禁止。
- 2.自動車整備以外での使用禁止。
- 3.能力以上の使用禁止。
- 4.ミッションジャッキ及びアタッチメント部の改造は禁止。
- 5.洗車作業での使用禁止。
- 6.オイルは弊社指定のジャッキオイルを使用のこと。重粘度のオイル、ブレーキオイル等は絶対に使用しないこと。

使用上の注意

- 1.ミッションを脱着しても、車のバランスが崩れないことを確認して使用のこと。
- 2.作業前に必ず始業点検を行うこと。
- 3.ミッションジャッキの昇降操作中は他の人を近付たり、わき見運転は絶対禁止。
- 4.保管場所は受け板を最低位置まで下げ、ポンプハンドルは本体側に寄せた状態で屋内に保管のこと。

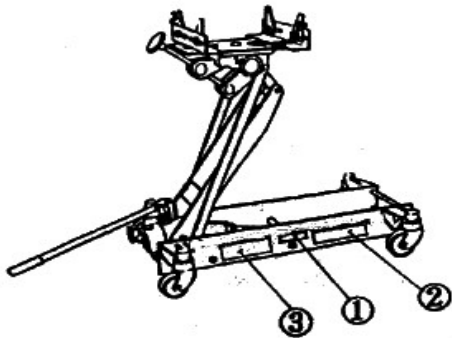
操作上の注意

- 1.ミッションの重心が受け板の中央に来るように載せ、確実に固定すること。
- 2.ミッションジャッキの上昇操作時にミッションジャッキで車を持ち上げないこと。
- 3.下降操作前に、ミッションジャッキ周辺の安全を確認すること。
- 4.急激な下降操作はしないこと。
- 5.脱着操作は車の水平を確認しながら行うこと。

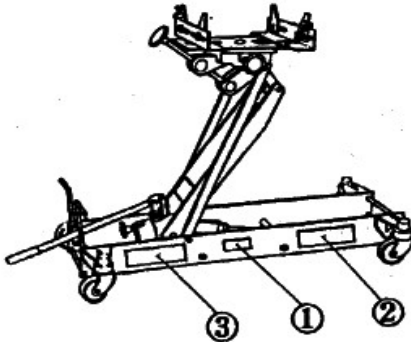
2-3 ラベルの貼付位置とラベルの名称

●M-800

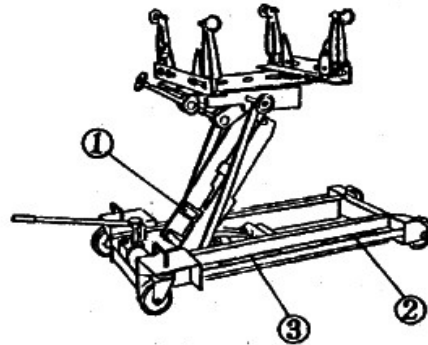
| | |
|---|----------|
| ① | 型式・能力ラベル |
| ② | 警告ラベル |
| ③ | 注意ラベル |



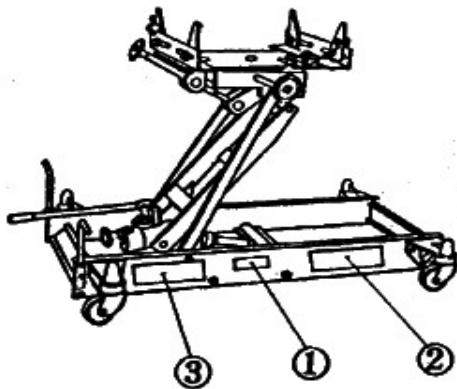
●M-1200



●M-1800



●M-1500



⚠ 注意

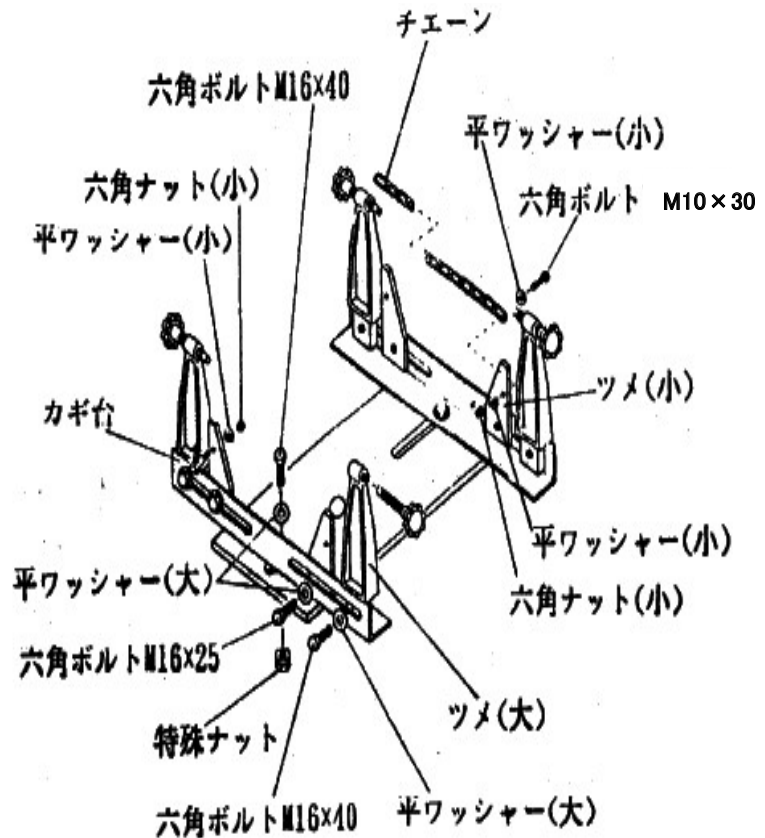
警告ラベルは大切に使用して下さい。はがれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

3.構造及び各部の名称

3-1 受け板付属部品の取り付け方

M-1800 のアングル及びツメは、本体の工具受けにあります。付属部品の個数を確認の上、ボルトを取り外し図の様に組み立てて下さい。また、取り付け後、緩み・ガタがない様しっかり締め付けてからご使用下さい。

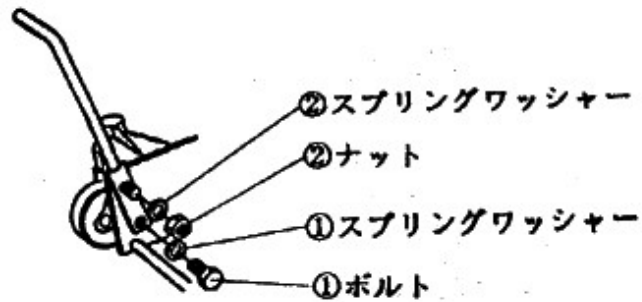
| 付属部品名 | 個数 |
|--------------|----|
| ツメ(大) | 4 |
| ツメ(小) | 4 |
| チェーン | 1 |
| カギ台 | 1 |
| 特殊ナット | 2 |
| 六角ボルト M16×40 | 6 |
| 六角ボルト M16×25 | 4 |
| 平ワッシャー(大) | 10 |
| 六角ボルト M10×30 | 1 |
| 平ワッシャー(小) | 3 |
| 六角ナット(小) | 2 |



M-1200 手押しハンドルの取り付け方

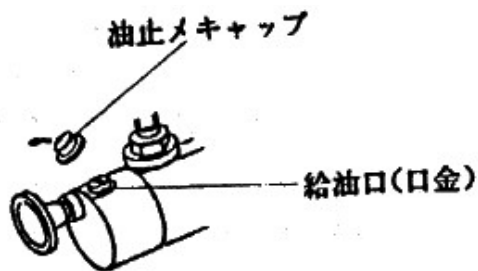
ご使用にあたり、次の要領で取り付けを行って下さい。

- 1.①のボルト、スプリングワッシャーを外し、手押しハンドルを取り外す。
- 2.②のナット、スプリングワッシャーを外し、ニギリ部を外に向けネジ、穴を合わせ添付のボルト、ナット、スプリングワッシャーで確実に締め付ける。反対側も同様に取り付けして下さい。



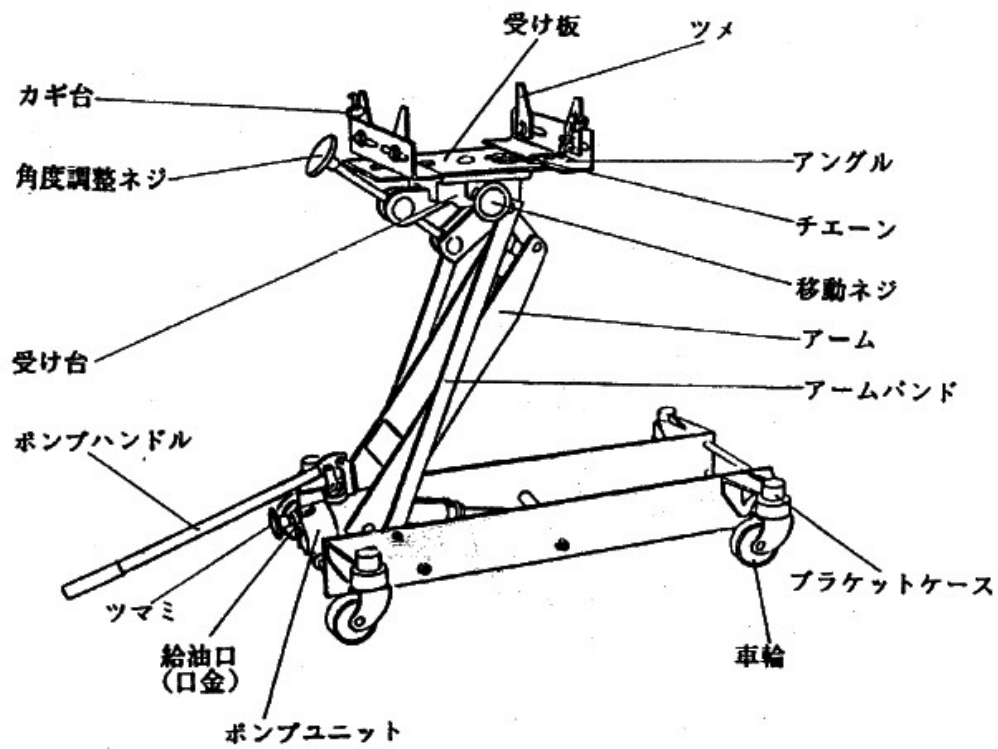
M-800、M-1200、M-1500 の場合

給油口(口金)に、油止めのキャップが取り付けられています。ご使用前に外して使用して下さい。

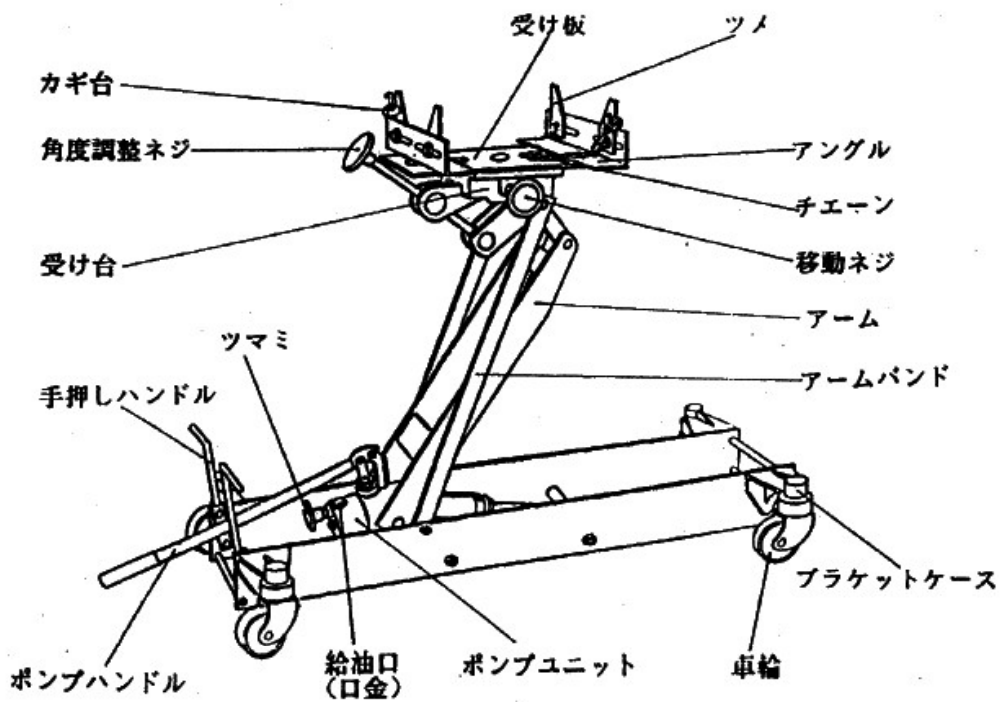


3-2 構造及び各部の名称

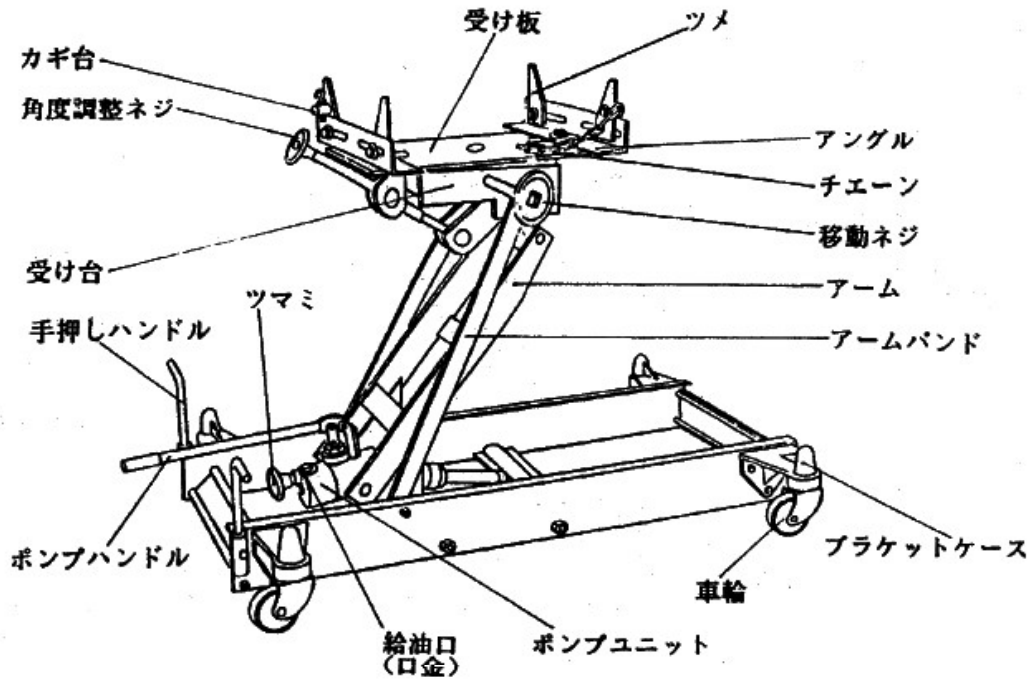
●M-800



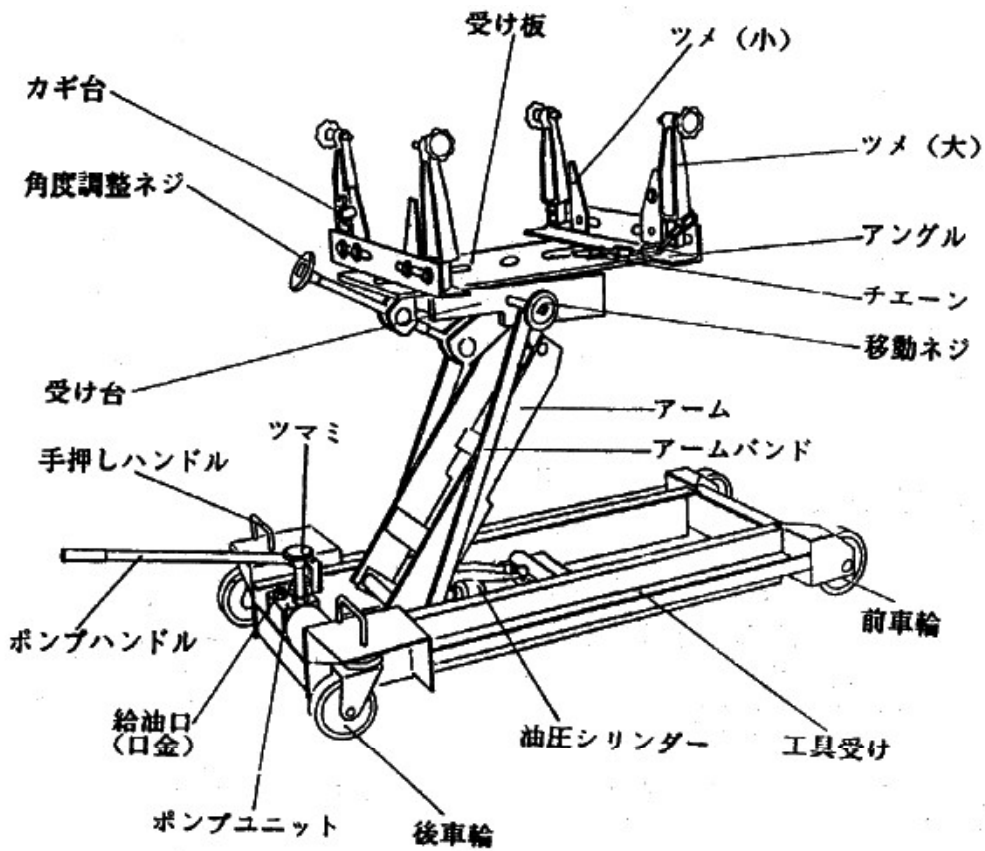
●M-1200



●M-1500



●M-1800



4.使用方法及び使用上の注意

警告


このミッションジャッキの操作は、使用方法を熟知した人以外使用しないこと。

4-1 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行って下さい。なお点検はミッションを載せないで行って下さい。

注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでミッションジャッキの使用を禁止して、直ちに販売会社に連絡して下さい。そのままお使いになりますとミッションジャッキの破損及び重大な事故につながる危険があります。

 7-8 ページの各部の名称を参照して下さい。

| 点検箇所 | 内容 | 点検方法 |
|------------------------------------------------------|---------------------------------|--------|
| ・受け板 ・受け台 ・アーム ・アームバンド ・アングル ・ツメ、チェーン | ・変形、破損、摩耗はないか | ・目視 |
| ・移動ネジ ・角度調整ネジ | ・変形、破損、摩耗はないか ・グリースが塗布されているか | ・目視 |
| ・車輪 ・前車輪、後車輪 | ・スムーズに回転するか ・変形、破損、摩耗はないか | ・目視 |
| ・アーム部 | ・円滑に作動し、異音はないか | ・目視、聴取 |
| ・ポンプユニット部 ・油圧シリンダ一部 | ・油漏れはないか | ・目視 |
| ・各ネジ部 (ボルト及びナット類) | ・変形、破損、緩みはないか | ・目視 |
| ・止めリング、割リピン類 | ・変形、破損、外れはないか | ・目視 |
| ・ミッションジャッキ全体部 | ・変形、破損等異常はないか | ・目視 |

注意

増し締めを行う場合は、取扱説明書 16 ページの表ねじの締付けトルク欄を目安に増し締めを行って下さい。ポンプユニット部及び油圧シリンダ一部の増し締めは行わないで下さい。増し締めを行う場合はお買い上げの販売会社へ連絡して下さい。

4-2 ミッションジャッキを使用する条件

警告

1. 傾斜地や軟弱な場所での使用禁止。
2. 車はバランスよく安定した状態で保持されていること。また、ミッションを脱着してもその状態が保持されていること。
3. エンジンや偏荷重での使用禁止。
4. 脱着の時、車を大きく揺らさないこと。車の落下の危険あり。

4-3 上昇及び停止操作

1) 受け板上昇操作

ツマミ(圧カバルブ)を時計方向に回転が止まるまで回し、ポンプハンドルを上下に操作します。

警告

昇降部に手や足を入れないで下さい。重傷事故につながります。

注意

1. わき見をしながらの操作はしないで下さい。重大な事故につながります。
2. 能力以上の使用は、絶対にしないで下さい。ミッションジャッキの破損につながります。

2) 受け板停止操作

ポンプハンドルの上下操作を途中で止めますと、受け板はその位置で上昇を停止します。受け板は荷重を保持したままになります。

注意

受け板を上昇させ、受け板がミッションの正しい位置にセットされていることを確認して下さい。もし合っていなかったら、一旦下降させ正しい位置に調整して下さい。

3)受け板のセット操作

- 1)ミッションの重心は、受け板の中央に来るようにミッションジャッキの位置を合わせて下さい。
- 2)角度調整ネジ・移動ネジを操作して、ミッションが安定した姿勢になるように受け板をセットして下さい。
なお、M-1500、M-1800の角度調整ネジ・移動ネジには、ラチェットハンドル用の12.7角の穴が付いています。
- 3)受け板付属部品アングル・ツメをミッションに確実に合わせセットします。更にチェーンを必ず掛けて下さい。

警告

- 1.ミッションが脱落転倒しないように必ずチェーンを掛けること。また、アングル、ツメはボルト、ナットで確実に締め付けられているか確認して下さい。
- 2.セット時の上昇操作の時、自動車を持ち上げないように十分注意のこと。自動車が落下する危険があります。
- 3.受け板とミッションとの高さ位置合わせの時は、必ずミッションジャッキを上昇・下降してセットして下さい。2柱リフト等による昇降でのセットは厳禁です。
- 4.ミッションを脱着すると自動車の重心が変化します。安全を確認の上、受け板をセットして下さい。

4)揚程制限

- ・M-800、M-1200、M-1500の場合

バイパス機構を設けてありますので、最高位に達してもハンドル操作は重くなりませんが、更にハンドル操作を行ってもそれ以上の上昇はしません。

- ・M-1800の場合

最高位に達しますとポンプハンドルが重くなりポンプハンドル操作は出来なくなります。

注意

最高位に達したら、ポンプハンドル操作は直ちに停止して下さい。必要以上のポンプハンドル操作はミッションジャッキの破損につながります。

4-4 下降操作

ツマミ(圧カバルブ)を反時計方向にゆっくり回し、トランスミッションを下げます。

警告

ミッションジャッキは必ず最低位置まで下げて移動すること。また、傾斜や軟弱な場所で使用しないこと。

注意

- 1.下降操作をする前に必ず周辺の安全を確認して下さい。重大な事故につながります。
- 2.ツマミ(圧カバルブ)は、ゆっくり静かに回して下さい。早く回すと載っているミッションが急激に下降し、落下転倒の原因となり、重大な事故につながります。また、ミッションジャッキが破損する場合があります。下降操作は、静かにゆっくり行って下さい。
- 3.下降操作を行うとポンプユニット部の圧力が下がります。するとポンプハンドルが下がります。ハンドルを握ってツマミを緩めて下さい。

4-5 終業点検と保管

作業が終了したら、受け板やアングル、ツメ、アーム、フレーム部等に付着したゴミ、オイル、グリース等をきれいにふき取って下さい。また、この時警告ラベル等が汚れで見えなくなったり、ミッションジャッキ本体に異常が発見された場合には、直ちに販売会社にご相談下さい。

注意

安全の為受け板は最低位置まで下げ、ポンプハンドルは本体側に寄せた状態で屋内に保管して下さい。

5.定期点検

5-1 点検

安全に使用して頂くために、必ず定期点検を実施して下さい。

| 点検期間 | 点検箇所 | 点検項目 | 点検方法 | 保守要項 |
|-------|-----------------------------------------------|-----------------------------|------------|----------------------------|
| 2 週間 | ・受け板、受け台 ・アングル、ツメ ・チェーン、移動ネジ ・角度調整ネジ | ・破損、変形、摩耗 ・回転しゅう動部はスムーズか | ・目視 ・触感 | ・破損、変形、 著しい摩耗は交換 ・給油 |
| | ・アーム ・アームバンド | ・破損、変形、摩耗 ・回転しゅう動部はスムーズか | ・目視 ・触感 | ・破損、変形、 著しい摩耗は交換 ・給油 |
| | ・前輪 ・前車輪、後車輪 | ・破損、変形、摩耗 ・回転はスムーズか | ・目視 ・触感 | ・破損、変形、 著しい摩耗は交換 ・給油 |
| | ・ポンプユニット部 ・油圧シリンダ一部 | ・破損、変形、摩耗 | ・目視 | ・修理 |
| | ・ハンドル部 | ・破損、変形、摩耗 | ・目視 | ・破損、変形、著しい摩 耗は交換 |
| | ・各ネジ部 | ・破損、変形、緩み | ・目視 | ・緩みは増し締め ・破損、変形は交換 |
| | ・止めリング ・割リピン | ・破損、変形、外れ | ・目視 | ・外れは組み直し ・破損、変形は交換 |
| 3 カ月 | ・油タンク | ・作動油量の確認 | ・目視 | ・不足は補給 |
| 12 カ月 | ・油タンク | ・作動油の確認 | | ・交換 |

注意

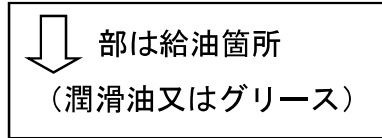
- 1.カバー等を外して点検した後は、必ず元通りすべての取り付け復元をして下さい。
- 2.点検の結果、異常は発見された場合には、直ちにミッションジャッキの使用を禁止して、お買い上げの販売会社へ連絡して頂き、処置を受けて下さい。
- 3.増し締めを行う場合は 16 ページねじの締付トルク欄を目安に増し締めを行って下さい。
- 4.ポンプユニット部及び油圧シリンダ一部は、増し締めを行わないで下さい。増し締めを行う場合は、お買い上げの販売会社へ連絡して下さい。

5-2 可動部への給油

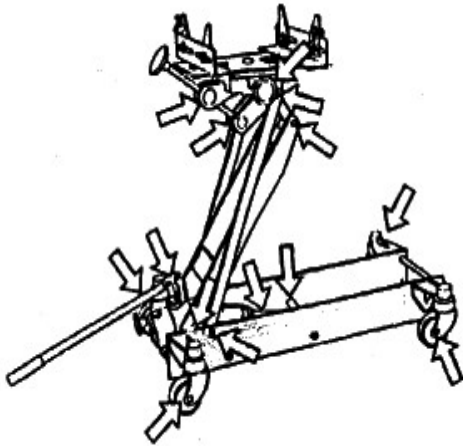
※2週間に1度以上行って下さい。

潤滑油：マシン油

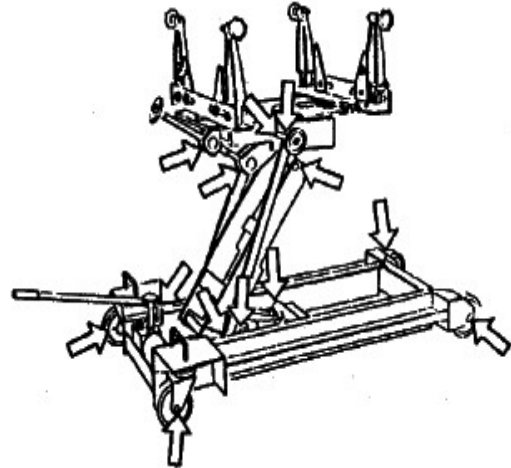
グリース：スプレー式グリース等、浸透性の良いグリースを使用して下さい。



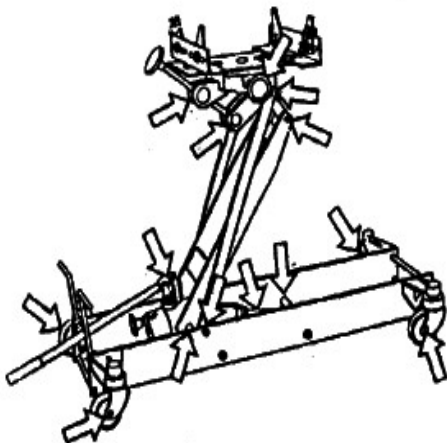
●M-800



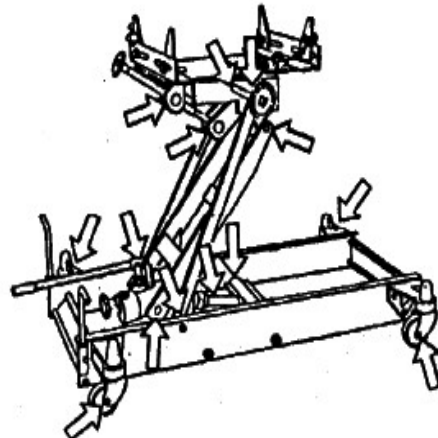
●M-1800



●M-1200



●M-1500



5-3 作動油の種類と交換・補給

初回から作動油交換は、3カ月経過した時点で行って下さい。

次回からは12カ月点検時に行って下さい。

⚠ 注意

1. 補給・交換用のジャッキオイルは、弊社指定ジャッキオイル又は、下記に示すオイルを使用して下さい。
2. 重粘度のオイル・ブレーキオイル・揮発性のオイル・植物性オイル等は絶対に使用しないで下さい。パッキン・ガスケットの機能が低下し自然降下の原因となります。

ミッションジャッキの油量

| 型式 | 総油量cc |
|--------|-------|
| M-800 | 210 |
| M-1200 | 210 |
| M-1500 | 210 |
| M-1800 | 450 |

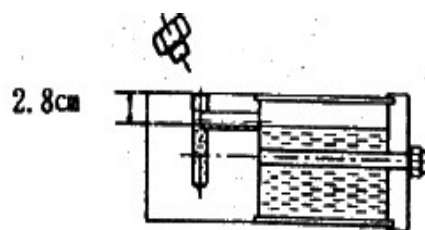
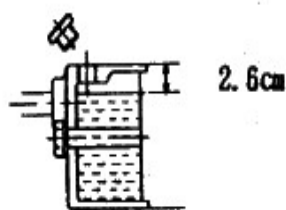
作動油の種類

| メーカー名 | 作動油名 |
|--------------|-------------------|
| JX 日鉱日石エネルギー | スーパーハイランド 22・SE22 |
| コスモ | ハイドロ HV22 |
| 昭和シェル | シェルテラスオイル S2M22 |
| モービル | DTE22・DTEXL22 |

※補給の場合

●M-800、M-1200、M-1500 は
給油口(口金)より2.6 cm下まで
給油して下さい。

●M-1800 は給油口(口金)より
2.8 cm下まで給油して下さい。



⚠ 注意

1. 給油・補給は必ず受け板を最低位置まで下げた状態で行って下さい。
2. 油を入れ過ぎますと給油口(口金)から油が吹き出る原因になります。

6.故障と処置

「故障かな」と思われる前にもう一度確認して下さい。異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合はお買い上げの販売会社へ相談して下さい。

| 症 状 | 原 因 | 処 置 |
|-------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 全然上がらない | (1)ツマミ(圧力バルブ)が完全に閉まっていない (2)オイルが入っていない | (1)ツマミ(圧力バルブ)を確実に占める (2)ジャッキオイルを補給する ※ |
| 途中までしか上がらない | ジャッキオイルが不足している | ジャッキオイルを補給する※ |
| 自然降下する | ツマミ(圧力バルブ)が完全に閉まっていない | ツマミ(圧力バルブ)を確実に閉める |
| 下がりきらない | しゅう動部に給油されていない | しゅう動部に給油をする |

※ジャッキオイルは、15 ページの 5-3 作動油の種類と交換・補給をご参照ください。

参考…ねじ締付トルク

ねじの締付トルクについては、建築用高力ボルト以外にJISでははっきりと定められていません。はめ合いの固さ加減や接触面のスベリ具合の状態から数値を示す事は至難でありますが、目安が何も無い事は現場に於いて不安であり不便でもあるので、参考までに下記に示します。

| ねじの呼び | 普通のボルト | 六角穴付ボルト・高張力ボルト |
|------------|------------|----------------|
| 強度区分 | 4. 8 | 12. 9 |
| M 8×1. 25 | 125 kg・cm | 393 kg・cm |
| M 10×1. 5 | 249 kg・cm | 780 kg・cm |
| M 12×1. 75 | 434 kg・cm | 1360 kg・cm |
| M 16×2. 0 | 1079 kg・cm | 3378 kg・cm |
| M 18×2. 5 | 1485 kg・cm | 4648 kg・cm |
| M 20×2. 5 | 2105 kg・cm | 6590 kg・cm |
| M 24×3. 0 | 3640 kg・cm | 11395 kg・cm |
| M 30×3. 5 | 7232 kg・cm | 22637 kg・cm |

7.仕様

| 型式 | 能力 kg | 受板 最低位 mm | 受板 最高位 mm | 揚程 mm | 全長 mm | 全巾 mm | 受け板 傾斜角度 (前後)° | 受け板左 右移動 mm | 自重 kg |
|--------|----------|-----------------|-----------------|----------|----------|----------|----------------------|-------------------|----------|
| M-800 | 450 | 205 | 790 | 585 | 900 | 500 | 30 | 40 | 70 |
| M-1200 | 600 | 205 | 790 | 585 | 1100 | 540 | 30 | 40 | 90 |
| M-1500 | 800 | 245 | 770 | 525 | 1220 | 735 | 30 | 40 | 110 |
| M-1800 | 1000 | 240 | 780 | 540 | 1270 | 715 | 30 | 40 | 135 |

※品質向上のため予告なく使用は変更することがあります。

8.製品保証規定

1)保証規定

取扱説明書、本体注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内(納入後一年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理させていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しておりません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更や改造を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- 5.指定された純正部品を使用されなかった時に起因する場合。
- 6.日本国外で使用される場合。
- 7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がない場合など)。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然損耗する部品、ならびに消耗部品につきましては、保証の適用は除外させていただきます。

注意

このミッションジャッキは洗車仕様になっておりませんので、錆、腐食等の水による故障は保証いたしておりません。

2)保証請求方法

上記の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承下さい。

3)アフターサービスについて

- (1)調子が悪い時……………まずこの取扱説明書の[6.故障と処置]の項目をもう一度ご覧になって調べてください。
- (2)それでも調子が悪い時は……………商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理を依頼してください。
- (3)保証期間中の修理について……………保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- (4)保証期間後の修理について……………有償で対応させていただきます。
- (5)アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせください。
- (6)お問い合わせ頂く場合は、次の事項をお知らせください。
型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)

上記事項を下表に必ず記載してください。

| | |
|--------|----------------------|
| 型式 | |
| 機体番号 | |
| 購入年月日 | 年 月 日 |
| 購入店名 | 社名: 担当者: 住所: 電 話: |
| 故障日・状況 | 年 月 日 |
| 故障日・状況 | 年 月 日 |
| | |
| | |
| | |

-MEMO-

-MEMO-

-MEMO-

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854

愛知県碧南市須磨町5番地2

TEL 0566-41-1482

FAX 0566-42-0709